



PRESS RELEASE

2011年1月17日
インターネットマルチフィード株式会社

マルチフィードサービスのDNSSEC対応について

インターネットマルチフィード株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木幸一、以下 MF）は、インターネットデータセンターサービス「マルチフィードサービス」で提供する各 DNS サービスにおいて DNSSEC に対応いたします。この結果、マルチフィードサービスの利用ユーザは詐称や改ざんに強く、信頼性の高い DNS を利用できるようになります。

1. 対応の背景

DNS[*1]はインターネットの根幹を支える重要な仕組みであり、インターネットが社会基盤として重要性を増す中で、その安定的な運用が求められています。また近年では DNS のセキュリティ上の攻撃が問題となるなど、より信頼性の高い、安心・安全な仕組みである必要性も増しています。

DNS に関するセキュリティの向上については、DNSSEC[*2]という DNS のセキュリティ拡張方式が策定され、普及が進みつつあります。2010年7月には DNS の最上位階層であるルート DNS サーバが DNSSEC に対応し、2011年1月に JP ドメイン DNS サーバも DNSSEC に対応します。

MF では、DNS 応答の偽造や改ざんに対し DNSSEC の導入が DNS の信頼性を高める有効な解決手段であると考え、これまでも株式会社日本レジストリサービスや国内外の DNS 運用関係者とともに DNSSEC の運用技術や普及における課題の解決などを行ってきました。

2. DNSSEC の導入について

MF ではマルチフィードコネクティビティサービスのオプションとして提供する各 DNS において、2011年1月28日より、以下の通り DNSSEC に対応いたします。

- ・ドメイン名申請代行サービス

JP ドメイン名(属性型・地域型 JP ドメイン名、汎用 JP ドメイン名)の申請代行において、DNSSEC に対応した署名鍵情報の取り次ぎ（DS レコードの登録）を行います。

- ・キャッシュ DNS サーバ

お客様にご利用いただいている通常のキャッシュ DNS サーバに加えて、DNSSEC の署名検証機能に対応したキャッシュ DNS サーバも提供いたします。

また、上記に加えてマルチフィードサービスで提供する権威 DNS サーバにおいても、順次 DNSSEC への対応を予定しています。

3. DNSSEC 対応により実現されること

DNSSEC の導入により DNS 応答の送信元と内容の正当性を検証することが可能になります。マルチフィードサービスのユーザは DNSSEC に対応したサーバを用いることで、

1. 応答が確かにその DNS サーバから発信されたものであること
2. 応答内容が悪意のある第三者により途中で改ざんされていないこと

を確認できるようになり、信頼性の高い DNS を利用できるようになります。

【用語解説】

*1 DNS (Domain Name System) :

DNS (Domain Name System) は、インターネット上でドメイン名と IP アドレスの対応付けなどのコンピュータの資源情報を管理するための分散データベースです。インターネットにとって必要不可欠なシステムの一つです。

*2 DNSSEC (DNS Security Extensions) :

DNSSEC (DNS Security Extensions) は、DNS のセキュリティを向上させるための一連の DNS 拡張機能で、DNS の応答に公開鍵暗号方式による署名を付加することで、応答を受け取った側が正しい内容であるかどうかを検証できる仕組みです。DNS はプロトコル的に悪意のある第三者によるデータの偽造が容易であるという弱点があり「DNS キャッシュポイズニング」攻撃が容易でしたが、この問題を解決し、DNS の信頼性を高めるための手段として DNS のセキュリティ拡張方式である DNSSEC が策定されました。

[本件に関するお問合せ先]

インターネットマルチフィード株式会社
広報担当
Tel: 03-3282-1010
Fax: 03-3282-1020
E-mail: info@mfeed.co.jp
URL: <http://www.mfeed.co.jp/>